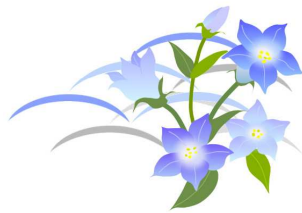




平成25年3月 No.4 文責 あすなろ作成委員



下ノ加江中学校の 主任が平成25年2月4日
お亡くなりになりました。
ご冥福を心からお祈りいたします。

第83回 幡多地区公立学校事務職員研修会 報告

平成25年2月22日(金)

於:四万十市立中央公民館

今回は初めて午後半日の日程で行われました。当日は、教職員福利課から課長補佐の さんと 管理主事・ 主事の三名の方に出席して頂き、学校改善プランのことやサービス・旅費についての質問事項について規則を交えながら話して頂きました。

サービス・旅費については、予め募集していた質問事項について説明して頂きました。まずさんの方から、サービス監督権は各市町村教育委員会にあるので、あくまでも判断する時の材料として押さえて下さい。と話された後説明して頂きました。

旅費についても、初めに制度の話をして頂き、次に質問事項に答える形式で進みました。どちらも、はっきりとした回答ではありませんでしたが、各市町村や学校等地域性もあるので明確にできない部分もあり、判断する力を養わなければいけないと思いました。Q&Aの記録が集録あすなろに掲載されているので、判断する時の参考資料の一つとして、活用してみてください。

二つ目の講話では、西部教育事務所の 先生に「言語活動を活かし表現力を育てる授業と論理的に話す技術」と題して演習も交えてお話して頂きました。

話をするときのポイントとして、

- ① 相手は「分からない」という前提に立つ。
- ② 「話の地図」を相手に示す(初めに伝えたい事を話して進める。話しの全体像を相手に示す。)
- ③ 論理的な構成を意識する。(筋道を立てて話を)

これらを意識して話すことで、相手に伝わる話し方ができるとのことです。よく、職員会等で話す時、話さなくてはいけないことが多すぎて、話しているうちに何を伝えたかったのかわからなくなってしまったり支離滅裂に終わってしまったことがありませんか?私はよくあります。初めて聞く話を限られた時間の中で伝える事は難しいですが、多くを望まずポイントを絞って話すことは大事なことでないでしょうか?

資料の中には、演習も沢山含まれていて、時間の関係でできなかったところもありましたが、また講演して頂きたいお話でした。

四万十市立下田中学校

高知県公立小中学校等事務冬季研修会報告

平成25年1月25日(金)

於:高知会館

冬季研修会に出席してきました。

官民格差解消、給与構造の抜本見直しという名のもとに、平成17年より給与の改定が行われ、賃金カットで手取り額は減っていく一方です。さらにその上に、退職金支給制度の改定があり、退職して被扶養者生活に入ろうか……。それでもこの不況の中給与がいただけるのだからありがたい、と思っておしていました。

しかし、今回の改定は年の途中でいきなり退職金の支給率が下げられる、今までの何倍も打撃が大きいものですね。

そんなこんな的情勢の中、福利課の研修会に出席しました。県教育委員会の事務局機構表の説明や福利厚生に関する実務研修、健康長寿政策課の出前講座もあり、内容の濃い研修会でした。中でも今回の研修の目玉は退職手当の説明だったと思います。

今年は担当が変わり若い男性の説明でした。淡々と流れるような説明で感心！の反面、退職説明会では先生方に理解が得られたかな、と心配にもなりました。

手当の計算方法の説明中、実際の金額を再確認しましたが、金額を見るたびに力が抜けるのは私だけではないと思います。中でも、私たち学校事務職員は職の格付けが低く「退職手当調整額の適用区分」が定年まで40年前後、真面目に働いても総括主任・主任以外は下から2番目、教諭でいえば経験年数10年から16年の方と一緒にということ。

それはすでに18年に新制度として計算方法が改定されていたのですが、金額を目の当たりにして自分たちの職がいかにか低く見られているのか。いや、反対に教員が日本の子供と未来を育てていく特殊な職種だと考えた方がいいのでしょうか。私たちもその教育に大いにかかわっているのですが、その金額の差は大きいですね。

話は変わりますが、高知県は長寿県です。でも健康でないと楽しい老後は送れない。出前講座では、参加者だけ特別な冊子もいただきました。健康に過ごすためのヒントがいっぱい詰まった冊子です。一日20分歩けば、一年で1キロの減量ができるそうです。地産地消で特産の野菜を350グラム食べることを推奨しています。(きゅうり1本やトマトの中サイズが約100グラムだそうです。) 食事の順番は野菜から食べてください。血糖値の上昇を抑えられるそうです。

減額になった退職金を頂いた後は、年金を受け取り健康な老後を送りたいものです。ちなみに、私の年齢から年金受給は65歳となります。預貯金がカギです。なければ繰上げ支給の年金制度を利用するべきか多いに悩むこととなりそうです。

最後に、人数が減少していることでもあります。年々研修会への参加者が少なくなっているように感じます。資料の中に「県事務研究会 研究中期計画」があり、今後の私たちに必要な方策として5項目掲げています。頑張っている人が頑張っているだけの評価をしてもらうために、自分たちの質が高まって制度上も認められる存在へになりたいですね。それぞれ事情があると思いますが、見て聞いて参加して一緒に資質向上を、と願います。

黒潮町立三浦小学校



『総括主任より』

四万十市学校事務支援室
総括主任

○はじめに

今回の「あすなる」への寄稿にあたって、まず最初に先日お亡くなりになられた下ノ加江中学校の主任のご冥福をお祈りさせていただきます。さんと私は同一の市町村で勤務をしたことは有りませんが、何度か学校事務や共同実施について意見交換をさせていただいたことを思い出します。

また、さんは来年度の清水中学校への統合や共同実施の開始に向けて、様々な取り組みや方向性を考えられていたと思うと残念でなりません。

色々な感情が行き来しますが、あすなる編集委員さんから依頼を受けた『共同実施』についての考えや思いについては今回は主題とはいたしません。なぜ？と思われるかもしれませんが、すでに高知県では平成25年度から『県内全域での学校事務の共同実施により、組織的で効率的な学校事務体制の強化』を行うことになっています。そういった状況のもと各市町村では共同実施というしくみ（ツール）を使って、どのように事務職員の能力を最大限に学校経営に生かすのか考えていかなければなりません。その取組はそれぞれの置かれている状況や課題で千変万化するのは当然でありますし、一律に言えるものではありません。今後は各市町村の事務職員の皆様がリーダーの方を中心に、アイデアや知恵を出し合って関係機関・組織と共に前向きに進んでいってほしいと思っています。



○期待から責任感への昇華

昨年2月の幡多地区冬季研修会ワークショップの『約束の言葉』をみなさんは覚えていますか？私は今回のあすなるに何を書こうかと考えた時に、そうだ！あの『約束の言葉』について書いてみようと思いました。そして大事にしまっていたワークシートを取り出して、もう一度読み直し素直な気持ちで語られているそれぞれの職への『期待』に改めて感動したことでした。みなさんもまとめを再度読んでみて、あれからの1年間を振り返ってみませんか。あの時みなさんは自分の職に対する期待に心がときめき、頑張らなければという気持ちになったと思います。今一度期待にどのように応えようと取り組んだのかに思いをはせてみてください。その結果はいかがでしょうか？自分自身を評価するのは難しいですが、学校での人事評価ではどんな取り組みを行ったか、そしてどういう成果があがったのかを問われます。

しかし、この振り返りは自らがこの1年どういう気持ち・モチベーションを持って仕事に対処してきたかを評価することに価値があります。毎年この時期に『約束の言葉』を確認して、自分自身の職務を見つめ直すことで、期待されている内容は心の中で責任感に昇華されていくと思います。その責任については四万十市のみなさんには一度話させてもらいましたが、私は四つの責任だと思っています。主任の職にある方には『伝える責任』、主幹・主査の方には『繋げる責任』、主事・臨時事務の方には『学ぶ責任』、さらに総括主任には「創る責任」です。どうぞみなさん 毎年冬季研修会が開催されるこの時期に、自分の職に対して向けられている期待や与えられている責任に真正面から向き合ってみてください。

※昇華

(本来は①固体が液体を経ないで直接気体になること。また、気体が直接固体になること。②物事が一段上の状態に高められることになっていますが、この文章では考えが前向きに変わっていく様子を表すために個人的な感覚で使っています。)

幹事会報告

1. 冬季研修会反省

- ・ 退職手当に関する説明や福利課の説明等、資料も分かりやすく、勉強になった。
- ・ 全体的に充実した内容だった。
- ・ 途中退席者がいた。研修に臨む姿勢を改めて話し合ってほしい。
- ・ 暖房の調節は難しい。各自調整できる服装で参加してください。
- ・ 福利課の説明は関心が高いので今後も続けたい。

2. 春季研修会

- ・ 平成25年6月14日（金曜日） 高知会館
- ・ 税金について他〈講師未定〉
- ・ 総会
 - ※ 総会議事運営委員 1名（幡多支部より選出）
- ・ 県大会について（調査研究部及び研修支部より）
 - ※ 幡多支部からも研修の内容の説明等を5分程度PRする



3. 県大会

- ・ 平成25年8月22日、23日 高知会館
- ・ 1日目（調査研究部、幡多支部） ※講師： 先生
- ・ 2日目（香美支部、調査研究部）
- ・ 調査研究部・・・学校事務組織 リーダー編 ～あなたならどうする～
- ・ 香美支部・・・防災研修
- ・ 幡多支部・・・学校評価
- ・ 研究概要・・・3月15日〆切
- ・ 各種調査用紙・・・6月14日〆切

4. その他

- ・ 春に「わかたけ」をもらっていない方には着払いで送ってくれるそうです。また、6月の春季研修会にも何冊か持参するので渡せるそうです。
- ・ 参加できない場合、当日資料の持ち帰りを依頼することを再確認してほしい。
- ・ 次の四国大会は平成26年8月19日、20日です。
- ・ 四国大会の徳島の分科会で紹介された防災マニュアルのデータを送ってくれるそうです。全体に送りつけるのはどうかということで、希望する方に送ることになりました。興味がある方は各支部長へ連絡してください。
- ・ 財務フォーラムの様子がYouTubeで見ることができます。
- ・ 全事研のWEBが新しくなりました。会員ルームにはパスワードが必要です。本部から届いたメールで連絡します。

なかまのうごき

